



# 6 季節の製作を通して、日本の伝統行事に親しみましょう



多くの園では、四季折々の伝統行事を大切にしています。子どもたちが行事に込められた意味や願いを知り、遊びや生活に取り入れ季節を感じる豊かな経験ができるようにしています。

行事ごとの製作遊びも楽しい経験の一つで、各年齢の発達に応じた工夫がなされています。各園によって様々な取組がされていますが、年齢ごとに発達が分かりやすい素材や技法の一例をご紹介します。

家庭でも、園から持ち帰った物を飾ったり、作った物を使って遊んだりして、伝統行事に親しみ季節感を味わえるようにしましょう。



## 5月 端午の節句

### 3 歳児



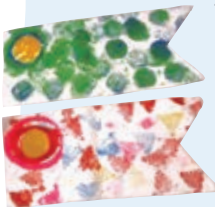
- ・簡単にすぐできて繰り返しやってみたいと思うような、技法や素材を取り入れています。
- ・3歳児の手に合うサイズで作り、できあがったら広告紙を丸めた棒に鯉のぼりと吹き流しを付けて、幼児が手に持って遊ぶことができるようにしています。

### 4 歳児



- ・鯉のぼりの台紙の色、うるこの色や形を自分で選び、作る楽しさや、自分だけの鯉のぼりができるうれしさを味わえるようにしています。
- ・鯉のぼり製作をとおして、ハサミや糊を使う経験ができるようにしています。

### 5 歳児



- ・共同製作として、友達と一緒に相談して決めたり、協力しながら作ったりするかわりを大切にしています。2～3人で一つの意見に決める過程で、友達の言葉を聞き、自分の気持ちとは異なる思いに気付き、受け止める経験が、できるようにしています。
- ・友達と一緒に一つの鯉のぼりを作りあげる喜びを味わえるようにしています。



鯉のぼりになって遊んでいます。



### ●端午の節句の豆知識

昔から、子どもたちの健やかな成長を願い、鯉のぼりを揚げたり、兜や鎧を飾ったりしてきました。お風呂の湯船に菖蒲の葉を入れたり、ちまきや柏餅を食べたりする風習もあります。

\* 諸説あります。